

## 令和6年度 学校説明会校長挨拶

本日は大変ご多用の中、学校説明会にご出席いただき、誠にありがとうございます。

4月1日に着任しました校長の島田です。3月まで旭区今宿小学校で5年間校長をしていました。4月8日の始業式、入学式、それから毎日、昇降口の前に立っていますが、子どもたちのすてきな挨拶に元気をもらっています。前任の小林校長からのバトンをしっかり受け取り、子どもたちにとって安心して楽しくなる学校を作っていきたいと思っています。どうぞよろしくお願いします。

学校便りにも書かせていただきましたが、岩崎小学校の学校教育目標は「ひとが好き まちが好き いわさきの子」です。自分と自分の周りに居る人を愛し、自分の住んでいるこのまちを愛せる子どもを育てていきたいと思っています。そのために、3つのことに取り組んでいきます。

一つ目は、「誰一人取り残さない、人権を尊重した教育活動」です。学校生活のあらゆる教育活動において、他者に対して受容的な、多様性を受け入れる態度を育てていきます。また、物事を多面的、多角的に見ることができるようにつけていきます。一人ひとりに自分の居場所があり、活躍の場面が保証されるように取り組む中で、こうした態度や力をつけていきたいと思っています。そのために、同学年の人間関係だけでは気づかない自分のよさを発揮できるように「異学年のふれあい活動」を行います。また、自分の興味関心のあることに自ら取り組める力を養うために自主学習を行います。

日々の授業においては、隣の友達やグループで自分の考えを伝え合う活動を大切にしていきます。授業は、学校生活の大半を占めるものですので、授業づくりの研修を行い、授業力向上をめざします。また、教職員の人権意識向上のための研修も実施します。

二つ目は「信頼される学校づくり」です。いじめが起こらない学校風土を作っていきます。そのために、学校での集団生活のルールをみんなで共有し、統一した指導をしていきます。また、いじめの早期発見に努めます。そのためにアンケートや児童教育相談も実施します。いじめの早期発見には保護者の皆様のお力も必要です。保護者の皆様におかれましては、授業参観などでお子様の頑張る様子を見に来ていただくとともに、ぜひ、懇談会にもご参加いただき、親同士が顔見知りの関係になっていただきたいと思っています。子どもの様子をみんなで見守る岩崎小学校にしていきたいと思っています。

そうはいっても集団生活の中では、様々なトラブルが生じます。大切なのは、それを成長の節目とすることだと考えています。どういうことかという、子どもは言葉を上手に使えずに、思いではなくて感情を口にしてしまいます。だから、相手のことを考えないで自分本位な感情が先に相手に伝わってしまいます。そこで、私たち大人の役目は、どう言えば相手に伝わったのかを一緒に考えるとともに、いやな思いをさせたことについては謝るということをお教えることです。一方的な見方、考え方ではなく、様々な角度から起きてしまったことを見つめ、いやな思いをしない、させない関係が作れるような子どもを育てていきたいと思っています。

さらに、学校のできごとを学校WEBページやお便りなどで発信し、子どもたちが学校でどのようなことをしているのかをお伝えしていきます。今年度か

ら「すぐーる」という伝達ツールが横浜市一斉に導入されました。今後、これまで紙でお伝えしていた配布物なども「すぐーる」で発信していくことを考えています。ぜひ、お手持ちのスマートフォンの「通知」の設定を「すぐーる」が来たときにわかるようにオンにしておいてください。

三つ目は、「効果的効率的な学校運営と地域連携」です。これまで当たり前だと思って取り組んできたことについて、費用対効果を考え、見直し、改善していきます。改善したことについては学校評価を通して振り返り、よりよい方向へ向かうようにしていきます。

「あゆみ」についても所見については年度末のみとし、そのかわり、日々のできごとを連絡したり個人面談でお子様の様子をしっかりと伝えたりするようにします。

地域連携については、今年度、生活科・総合的な学習の時間において、まちを題材にした学習を昨年度以上に大切にしていきたいと考えています。岩崎小学校周辺には、病院やお店、線路や国道、ケアプラザや神社・お寺など魅力的なところがたくさんあります。学校教育目標「まちが好き」な子どもを育てるためにも、地域の皆様とともに、様々なひと・もの・ことと出会い、問題を発見し、友達や地域の皆様と協働的に解決していく授業を行っていきたいと考えています。こうした学習を通して、このまちのことに詳しくなり、このまちを大好きな子どもたちにしたいと考えています。そして子どもたちが大きくなったとき、このまちのよさを大切に、よりよいまちにしていけるような人になってほしいと願っています。

ご家庭と地域の皆様とともに、みんなで「ひとが好き まちが好き いわさきの子」を育てていきたいと思えます。どうぞよろしく願います。